

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2011年2週 (1月2週 1/10 ~ 1/16)

2010年12月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail : eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先 : 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

インフルエンザ、集団かぜの発生について、
 感染性胃腸炎、結核
 病原体検出情報
 定点医療機関コメント
 インフルエンザ、溶連菌感染症、伝染性紅斑、
 感染性胃腸炎、RSウイルス感染症 等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(24)、細菌性赤痢(1)、E型肝炎(1)、レジオネラ症(1)、ウイルス性肝炎(1)、急性脳炎(2)、後天性免疫不全症候群(2)、麻しん(1)

2010年12月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

インフルエンザ (図1)

10保健所(名古屋市除く)で注意報レベル(定点当たり報告数10.0)以上となりましたので、1月19日に愛知県はインフルエンザ注意報を発令しました。2週の定点当たり報告数は12.3、1週821人 2週2,394人です。2010/2011シーズンに病原体定点から寄せられた96検体のうち、8検体から新型AH1pdm、10検体からAH3、7検体からB型(Victoria系統)、1検体からB型(山形系統)インフルエンザウイルスが検出されました。

【参考ページ】

“インフルエンザ注意報”を発令します!

<http://www.pref.aichi.jp/0000037520.html>

インフルエンザのホッと情報(豊橋市)

http://www.city.toyohashi.aichi.jp/bu_kenkou/kenkouseisaku/influenza_hot.html

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

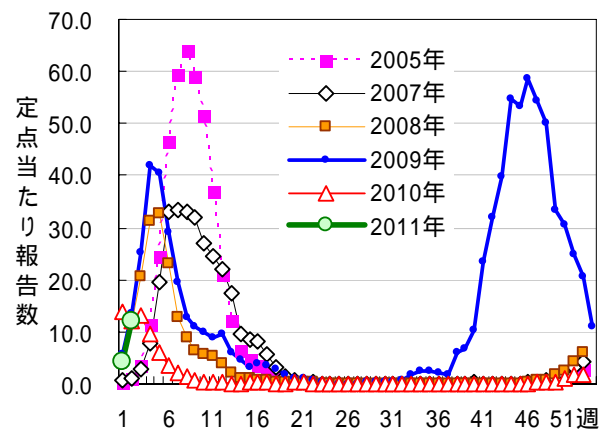


図1 インフルエンザ

[2009年31週から新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告]

集団かぜの発生について(健康対策課新型インフルエンザ対策室発表)

	発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
第5報	1月17日	瀬戸、春日井、江南	http://www.pref.aichi.jp/0000037470.html
第6報	1月18日	豊川、西尾、江南、衣浦東部	http://www.pref.aichi.jp/0000037507.html

感染性胃腸炎

2週の定点当たり報告数は9.82、1週1,583人 2週1,787人です。

【参考ページ】

感染性胃腸炎警報を発令します!

(健康対策課・12月16日)

<http://www.pref.aichi.jp/0000009508.html>

結核 (図2)

2010年総計(1月17日現在)は2031例(うち無症状病原体保有者349例)、2009年総計は2,068例(同341例)でした。

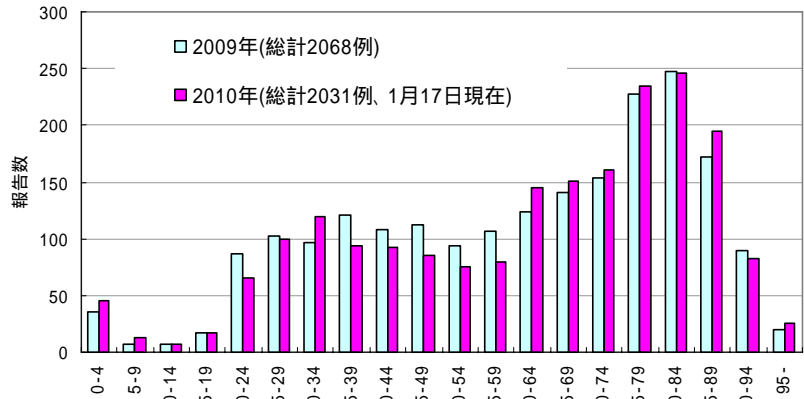


図2 結核の年齢階層別報告数(愛知県、無症状病原体保有者含む)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルペス	咽頭結膜熱	流行性角膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎 脳症	インフルエンザ	麻疹
患者数	317	91	79	10	30	42	23	463(96)	16(17)
PV-1	2								
PV-2	1								
PV-3	2								
CV-A4		1	25				1		
CV-A5			11						
CV-A6		6	6						
CV-A10			5						
CV-A16		3				2			
EV-71		52	1			5			
CV-B1			1						
CV-B2			1						
CV-B4	5		1			1			
CV-B5						1			
CV-A9			1						
E-3	1		1						
E-6						2			
E-25	1	1	1			1			
HPeV-1						1			
HPeV-3		1							
FluAH1pdm								373(8)	
FluAH3								3(10)	
FluB								7(8)	
MeV									7(8)
Rota A G1	10								
Rota A G2	1								
NV-G	5								
NV-G	81								
SV	2								
AstV	4								
Ad-1	3								
Ad-2	3	2						2	1
Ad-3	10			4	1			1	
Ad-4	1								
Ad-5	5								
Ad-6				1					
Ad-7				1					
Ad-37					4				
Ad-41	18								
B19V									2
検査中	102	6	2	1	2	11	1	0(69)	4(7)
陰性	88	21	23	3	23	18	21	77(1)	3(2)

インフルエンザは 2009/2010 シーズン、() 内は 2010/2011 シーズン(別掲)の検査結果。

麻疹は 2011 年 1 月分を含み、() 内は病原体定点医療機関以外からの患者数(別掲)。

略：ウイルス名(他の略名)

Ad：アデノウイルス、AstV：アストロウイルス、B19V：ヒトパルボウイルス B19、CV：コクサッキーウイルス(Cox.)、E：エコーウイルス、EV-71：エンテロウイルス 71 型、FluAH1pdm：新型インフルエンザウイルス、FluAH3：A 香港型インフルエンザウイルス、FluB：B 型インフルエンザウイルス、HPeV：ヒトパレコウイルス、MeV：麻疹ウイルス、NV：ノロウイルス、PV：ポリオウイルス、Rota A：A 群ロタウイルス、SV：サボウイルス

関連ページ 1)「疾患別ウイルス検出情報」<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

2)「2009/10・2008/09 シーズンインフルエンザウイルス分離・検出状況」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri08_09.html

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

インフルエンザが5人と流行の兆しです。
A型4例 B型1例。

溶連菌感染少し目立ちます。

【一宮市 あさのこどもクリニック】
インフルエンザA 4名。年齢は12歳～38歳。

【一宮市 後藤小児科医院】
マイコプラズマ感染症 2名。

【一宮市 ささい小児科】
インフルエンザ 1歳以下で2名。

【一宮市 平谷小児科】
インフルエンザ 48名（すべてA型）。

【一宮市 一宮市立市民病院】
インフルエンザ 3名 すべてA型。

【一宮市 水野医院】
インフルエンザA型 5名。

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
A型インフルエンザ7名、B型1名。

溶連菌6名、水痘7名でした。

りんご病も3名いましたが、RSは減りました。

【犬山市 武内医院】

インフルエンザ増加しています。A型7名、
B型2名。

溶連菌感染症も目立ちます。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】
RSウイルス感染続発中。

インフルエンザA(+)8例。全てH1N1pdmでした。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
41歳女 A型反応のインフルエンザ。

【扶桑町 いずみ内科】
インフルエンザ6名全てA型です。
感染性胃腸炎減少して参りました。

【清須市 丹羽医院】
インフルエンザA型7名、インフルエンザ
B型1名でした。

【津島市 医療法人参育会加藤医院】
インフルエンザはすべてA型でした。

【愛西市 医療法人谷本医院】

尾張東部地区

ノロウイルス感染を含めた感染性胃腸炎が
多くみられます。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】
インフルエンザA型増加傾向(学童での流行
が始まったようです)。

その他、溶連菌感染症、アデノウイルス感染
症等。

【尾張旭市 医療法人佐伯小児科医院】
インフルエンザA型6人。そのうち3人はワク
チン接種済でした。

【豊明市 こども元気クリニック】
インフルエンザ A7名。B2名。

【日進市 おぎす内科クリニック】
インフルエンザ急増。
感染性胃腸炎減少。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】
インフルエンザが増加しました。A型が24例、
B型も5例見られました。

【小牧市 志水こどもクリニック】
インフルエンザが急増しています。すべて
A型です。

【春日井市 かがわこどもクリニック】
インフルエンザウイルス感染症が少しずつ
増えてきています。

【春日井市 春日井市民病院】

インフルエンザが増えてきました。

RS、感染性胃腸炎もまだ流行しています。

【小牧市 小牧市民病院】
感染性胃腸炎が相変わらず多いです。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
A型インフルエンザ 22名
【半田市 医療法人敬おっかわこどもクリニック】
A型インフルエンザ 7名

【南知多町 医療法人大岩医院】
インフルエンザA 13名

【半田市 医療法人林医院】
インフルエンザは全てA型です。

【東海市 こいで内科医院】
インフルエンザ少し出てきました。A型9名、
B型1名。

【東海市 もしもしこどもクリニック】
伝染性紅斑の患者さんが増えてきています。
10歳男 病原大腸菌O25(+)、O1(+)VT(-)
8歳男、6歳女 インフルエンザB型、他は
A型です。

今週からインフルエンザ急増しました。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+) 7名
イムノエースアデノ 1歳女 10歳男
RSV(+) 0か月男
インフルエンザA型 4歳女 7歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルエンザA型 11人
マイコプラズマ 3人
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
インフルエンザA型 5名
【豊田市 厚生連足助病院】
インフルエンザB型 5名
【岡崎市 医療法人深田小児科】
インフルエンザ増加してきました。1例B型
(9歳男)、他はA型です。
伝染性紅斑も小流行中です。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
伝染性紅斑、インフルエンザA型散見されます。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
アデノ(+)1歳男 2歳女
インフルエンザA型 7例、B型 5歳男、9歳女
1歳男 病原性大腸菌O18(+)VT(-)
【岡崎市 にいのみ小児科】

7歳男 病原性大腸菌O6
インフルエンザは全てA型
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
インフルエンザはA
【刈谷市 田和小児科医院】
感染性胃腸炎目立ちます。
インフルエンザ少しずつ増えています。
(A型が主体、たまにB型)
【碧南市 永井小児クリニック】
インフルエンザA 9名
インフルエンザB 1名
【知立市 宮谷クリニック】
インフルエンザが流行し始めました。全部A
型です。
【みよし市 みよし市民病院】
インフルエンザA 7歳男、16歳女、5歳男
【西尾市 こどもクリニック宮地医院】
B型インフルエンザ 12歳女、20歳男
【西尾市 山岸クリニック】
インフルエンザは、すべてA型です。
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

インフルエンザA型が増えてきました。
RSウイルス感染症と感染性胃腸炎が流行し
ています。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
インフルエンザA型 8名
【豊橋市 おだかの医院】
インフルエンザA型 50名(3歳から67歳に
分布、20~29歳24名、30~39歳9名)。
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

インフルエンザ すべてA(+)です。
【豊川市 豊川市民病院】
学童にインフルエンザ発症あり。
【田原市 かわせ小児科】
インフルエンザA型10名、B型1名。
感染性胃腸炎も多い。
【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2011年1月19日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jun100311.pdf

結核（二類感染症）

報告保健所	2011年2週報告数			2011年累計(1～2週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	10	3	1	23	6	2
豊田市						
豊橋市						
岡崎市	2		2	2		2
一宮	1		1	2		1
瀬戸	1			3		
半田				3	1	
春日井				2		2
豊川						
津島						
西尾	1			1		
江南	1		1	2		1
新城						
知多	5	1	3	9	2	5
師勝						
衣浦東部	3	1	1	3	1	1
合計	24	5	9	50	10	14

細菌性赤痢（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	瀬戸	31歳	女	1/4	1/5	1/11	国内

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）						
E型肝炎（四類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域		
1	名古屋市	50歳	男	国内		
レジオネラ症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域	
1	一宮	63歳	男	肺炎型	国内	
ウイルス性肝炎（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	衣浦東部	37歳	男	B型	性的接触	国内
急性脳炎（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型		推定感染地域
1	瀬戸	7歳	女	病原体(アデノウイルス2型、エンテロウイルス)		国内
2	江南	8歳	男	病原体(インフルエンザA型)		国内
後天性免疫不全症候群（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	49歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	瀬戸	35歳	男	A I D S	性的接触	国内
麻しん（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域	
1	岡崎市	7歳	男	有	国内	

2010年12月報 (2011年1月17日現在、診断週に基づく集計)

12月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [() は無症状病原体保有者再掲。]

2009～2010年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2010年12月			2010年 総計 <愛知県全体>	2009年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	124 (25)	65 (11)	189 (36)	2,031 (349)	2,068 (341)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	2 (0)	1 (0)	3 (0)	11 (0)	13 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	1 (0)	1 (0)	2 # (0)	237 (56)	206 (53)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (0)
四類 (41)	E型肝炎	1	0	1	3	2
	A型肝炎	1	0	1	13	5
	オウム病	0	0	0	4	1
	つつが虫病	1	1	2	2	5
	デング熱	1	1	2	21	6
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1
	ブルセラ症	0	0	0	1	0
	マラリア	0	0	0	1	0
	ライム病	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	3	2	5	43	47
五類 (14)	アメーバ赤痢	1	1	2	52	55
	ウイルス性肝炎	1	0	1	16	17
	内訳					
	B型	0	0	0	15	11
	C型	1	0	1	1	6
	急性脳炎	1	0	1	8	35
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	8	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	1	11	10
	後天性免疫不全症候群	3	7	10	138	86
	内訳					
	無症候性キャリア	0	6	6	73	43
	AIDS	3	1	4	56	32
	その他	0	0	0	9	11
	ジアルジア症	0	0	0	1	1
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	1	1
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	1
	梅毒	2	3	5	53	46
	内訳					
	無症候	1	3	4	23	19
	早期顕症	1	0	1	27	26
	晩期顕症	0	0	0	3	1
	先天梅毒	0	0	0	0	0
	破傷風	0	0	0	3	5
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	0	1	2	1
	風しん	0	0	0	3	10
	麻しん	11	2	13	32	29
	総計	155	84	239	2,696	2,666

#; 0145; 1件、0157; 1件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2010年12月			2010年 総計	2009年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	69	41	110	1,680	1,695
	性器ヘルペスウイルス感染症	18	17	35	609	631
	尖圭コンジローマ	10	12	22	355	447
	淋菌感染症	31	42	73	822	692
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	93	21	114	1,239	1,090
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	17	7	24	238	146
	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0	2	4	5

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (41疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (41疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに入から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

愛知県感染症情報

2011年2週(2011年1月10日～2011年1月16日)

愛知県衛生研究所

愛知県 (保健所別)	定点数					RSウイルス感染症	*インフルエンザ (<small>鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。</small>)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (<small>オウム病を除く。</small>)
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																		
愛知県 (名古屋市含む)	195	182	35	54	17	136	2,394	37	202	1,787	246	8	71	114	5	4	113	0	12	0	0	9	2
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	39	12	101	1,826	25	151	1,240	202	8	51	91	5	1	100	0	9	0	0	9	0
名古屋市(16保健所)	70	70	11	15	5	35	568	12	51	547	44		20	23		3	13		3				2
瀬戸	9	9	2	3	1	5	113	2	9	93	17	1		6			1						
津島	7	7	2	2	1	7	62		8	200	12		1	10			23					1	
師勝	4	4	1	1			34	1	1	22	1		3	1	1		1						
一宮	16	12	3	4	1	8	104		17	73	12		4	5	1	1	4		1			1	
春日井	9	9	2	3	1	14	229	2	7	150	14		4	5	1		13						
江南	6	6	1	2		14	38	4	26	52	18		8	5			4		5				
半田	6	6	1	2	1	11	91		22	69	18		1	4	2								
知多	7	7	2	2		6	125	1	5	88	1		5	4			1						
岡崎市	11	7	2	4	1	2	197		11	37	28	3	11	14			1						
衣浦東部	13	13	2	4	1	7	271	4	26	138	31		4	21			17		2				
西尾	5	5	1	2	1	2	88		2	56	4	1	2	2			2		1				
豊田市	9	9	2	4	1	2	195	3	13	57	18		2	5			8					4	
豊橋市	12	8	2	4	1	12	158	2	3	105	19	3	6	6			7					3	
豊川	9	8	1	2	1	11	117	5		96	7						12						
新城	2	2			1		4	1	1	4	2						6						

*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告

愛知県感染症情報

2011年2週(2011年1月10日～2011年1月16日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	101	1,826	25	151	1,240	202	8	51	91	5	1	100	0	9	0	0	9	0
～6ヶ月	34	5			11	3												
～12ヶ月	27	28	3	1	73	12			39			1						
0歳																		
1歳	22	60	6		183	33	6	2	44	1		2						1
2歳	10	69	3	8	127	30	1	2	7			6		1				1
3歳	2	58	2	15	120	36	1	9				10						2
4歳	3	86	4	15	111	30		5	1		1	20						
5歳	3	76	1	33	72	20		11				19						
6歳		88	2	28	72	13		9				16						
7歳		79		16	49	10		5		1		15						
8歳		67	1	8	40	4		5				3						
9歳		61		11	57	5		1				5						
5歳～9歳																		2
10歳～14歳		187	2	12	110	4		2				2						
15歳～19歳		122			20	2												
20歳～			1	4	195					3		1						
20歳～29歳		390												1				
30歳～39歳		228												4				1
40歳～49歳		109												1				
50歳～59歳		60																
60歳～69歳		30												2				
70歳～																		
70歳～79歳		18																2
80歳以上		5																

*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告